

活動報告

●京都府立大学管理職セミナーにて 森迫理事・副学長が講演を行いました。

平成 27 年 4 月 27 日（月）、京都府立大学で開催されました女性研究者研究活動支援事業管理職セミナーにおいて、本学の森迫理事・副学長が「KIT 男女共同参画推進センター女性研究者研究活動支援事業 3 年間の活動報告」と題して、講演を行いました。

3 年間の取り組みや目標達成状況、学内の意識の変化、今後のさらなる推進について、本学での実践例を紹介しました。



管理職セミナーでの講演の様子（森迫理事・副学長）
※京都府立大学 HP より掲載

●本学学長補佐の大柴教授が、 京都府立大学女性研究者研究活動支援事業アドバイザリー委員会の委員に就任しました。

京都府立大学では男女共同参画推進室を設け、文部科学省「女性研究者研究活動支援事業（2013 年度～2015 年度）」の採択を契機に種々の事業を展開されています。その事業に対し、助言等を行うアドバイザリー委員に平成 27 年 4 月より本学学長補佐で電気電子工学系の大柴小枝子教授が就任しました。

インフォメーション

○KIT 男女共同参画推進センター第 9 回セミナーのご案内

日 時：平成 27 年 10 月 21 日（水）14：30～17：00
場 所：京都工芸繊維大学 60 周年記念館（京都市左京区松ヶ崎）
テーマ：「未来を創る理系のキャリアデザイン 2015」
講 師：丹羽 真清氏（デザイナーフーズ株式会社 代表取締役社長）
野崎 治子氏（株式会社堀場製作所 理事）

理系の仕事やキャリアデザイン、仕事と生活の両立（ワークライフバランス）について、企業や研究機関でご活躍の方を招いてお話を伺います。

入場無料、事前申込不要です。



～応援します！研究と生活の両立～ ◇◇京都工芸繊維大学 KIT 男女共同参画推進センター◇◇

住 所 〒 606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 京都工芸繊維大学 2 号館南棟 1 階 134 号室

TEL・FAX 075-724-7757（内線 7757）

E メール sankaku@kit.ac.jp ホームページ <http://www.sankaku.kit.ac.jp/>



～応援します！研究と生活の両立～

NEWS LETTER

KIT 男女共同参画推進センター通信

第 7 号
2015.09

本学の女性研究者支援の取り組みが NHKのTV取材を受けました！

平成 27 年 7 月 6 日（月）、本学の女性研究者支援の取り組みが NHK 大阪放送局の TV 取材を受けました。

本学は、平成 24 年度に文部科学省の「女性研究者研究活動支援事業」に採択され、平成 26 年度に 3 年間の補助期間を終了しました。女性研究者の増員、子育てや介護などライフイベントと研究の両立支援（研究支援員制度）、意識啓発セミナー、女性研究者の交流促進、情報発信など様々な活動を通し、女性研究者支援および男女共同参画推進に取り組んできました。

その 3 年間の成果と今後のさらなる推進を目指し、平成 27 年度も継続して支援事業を行っています。その取り組みについて、TV 取材がありました。

森迫理事・副学長へのインタビュー、研究支援員制度を利用している応用生物学系の半場祐子教授へのインタビューや研究、実験の様子、KIT 男女共同参画推進センターでのミーティングの様子などが、平成 27 年 7 月 10 日（金）18 時 10 分からの NHK 大阪「ニュースほっと関西」と、7 月 24 日（金）7 時 45 分からの NHK「おはよう関西」で放映されました。



インタビューを受ける森迫理事・副学長



取材を受ける応用生物学系の半場祐子教授



研究室での実験の様子



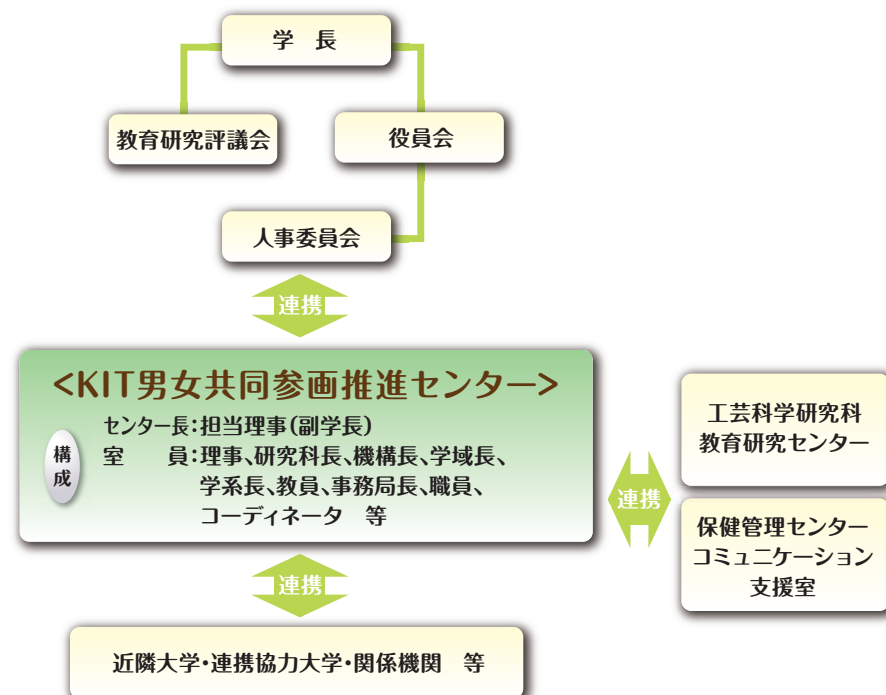
センターでのミーティングの様子

平成27年度KIT男女共同参画推進センター事業

平成24年度に採択されました文部科学省「女性研究者研究活動支援事業」は、平成26年度末をもって事業期間を終了しましたが、本学での女性研究者支援および男女共同参画のさらなる推進を目指し、KIT男女共同参画推進センターにて平成27年度も継続して事業を実施しています。平成27年4月、大谷理事・副学長がセンター長に就任しました。

推進体制

*平成27年4月1日現在



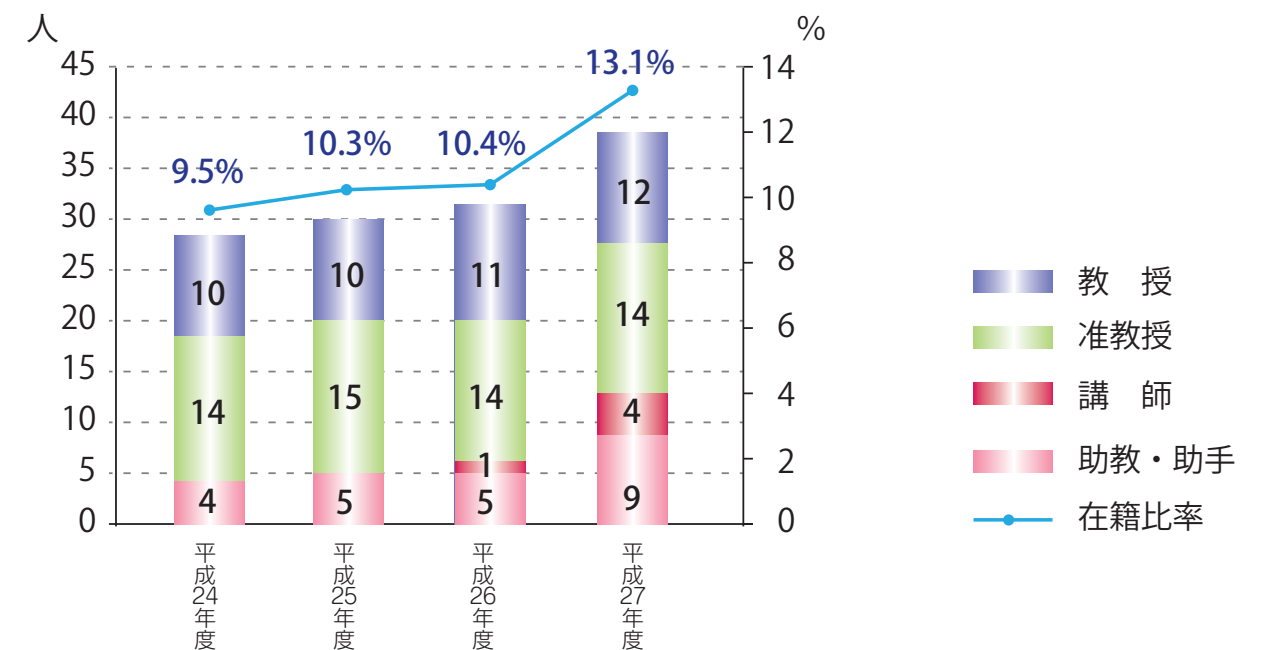
構成メンバー

センター長（理事・副学長）	大谷 芳夫
コーディネータ	森山 文恵
事務補佐員	久米由美子
○室 員	
理事・副学長	森迫 清貴
理事・副学長・工業科学研究科長	森 肇
理事・事務局長	小原 康伸
教育研究推進支援機構長	山口 政光
生命物質科学域長（副学長）	堤 直人
設計工学域長（副学長）	吉本 昌広
応用生物学系長	遠藤 泰久
機械工学系長	村田 滋
電気電子工学系教授（学長補佐）	大柴小枝子
分子化学系教授	亀井加恵子
基盤科学系准教授	竹井 智子
人事労務課長	坂口 義美

本学の女性研究者データ

女性教員（常勤教員）の職位別人数と在籍比率の推移

※各年度5月1日現在



WLB（ワークライフバランス）講座2015を開催しました。

講座1「高齢期の心理学—ワンダフルエイジング」

開催日：平成27年5月26日（火）

講師：日下 菜穂子氏（同志社女子大学現代社会学部教授）

年をとると人はどうなるのかを加齢クイズなどをしながら、記憶の変化、知能の発達、脳の変化、社会とのつながり、心と脳、幸福度など多面的なアプローチから考察しました。「生きる意味を見いだして、心豊かに年を重ねる人生後半の生き方をワンダフルエイジングという」日下先生の言葉に耳を傾け、それぞれが自分自身のライフプラン、ワンダフルエイジングを考えました。



日下菜穂子教授（同志社女子大学）

講座2「男性介護—仕事との両立のしかた」

開催日：平成27年5月29日（金）

講師：津止 正敏氏（立命館大学産業社会学部教授）

WLB（ワークライフバランス）を考える上で、男女ともに欠かせない状況のひとつである介護について、特に男性介護に焦点をあて、介護の社会背景や制度から男性介護者（ケアメン）の登場、悩み、現状の課題、必要な支援策などについて伺いました。「介護を排除して成り立つ暮らしや働き方ではなく、介護のある暮らしや働き方を標準」にする新しい生き方モデルについて、自分自身に照らし合わせて考える機会となりました。



津止正敏教授（立命館大学）